

施策評価管理シート

2012(平成24)年7月作成

担当部局名	部長名	連絡先 (担当室名)
消防本部	宇都宮 淳二	63-1411 (消防総務室)

施策体系	政 策	3	人が行き交い活力あふれる、安全で快適な暮らし
	基本施策	2	安全で安心な地域づくり
	施 策	2	消防・救急

1. 施策の基本方針

Plan

- ・ 火災予防や防火意識の高揚や消防施設等の整備・充実など消防対応力を強化します。
- ・ 救急救助体制を強化するなど、迅速な対応と被害軽減に取り組みます。
- ・ 周辺市町村等との相互協力体制を充実するとともに、「三重県消防広域化推進計画」に基づき、伊賀圏域における消防広域化に取り組みます。

2. 目標

重点目標

Plan

- ・ 防災意識のさらなる高揚を図るため、防火対象物や危険物施設に対する指導及び防火講習会や広報等による住宅用火災警報器の設置を推進するなど、啓発の充実強化に取り組みます。
- ・ 消防防災拠点として消防対応力の充実強化を図り、地域住民が安全で安心して暮らせるまちづくりを推進します。
- ・ 市民の安全に対する意識が高まっていることから、更なる救急救助業務体制の充実を図るため、高規格救急車と救助工作車を更新整備し、併せて救急救命士の養成と救助隊員の育成強化を計画的に進めます。
- ・ 消防団員の確保と出勤率の向上については、社会環境上、厳しい状況が続くと見込まれるため、更なる団員確保対策に取り組むとともに、団員不足が深刻な過疎化地区や平日の昼間に団員の出勤が困難な地区などを中心に、消防職団員OBを対象とした消防団活動への支援・協力制度の導入に取り組み、災害に対する初動対応の向上を図ります。

目標達成に向けた課題

Plan

- ・ 高齢者等の世帯への防火診断については、訪問指導に理解を得られないケースや高齢者世帯等の実態把握が困難なこともあるため、地域との連携による訪問指導の手法を検討する必要があります。
- ・ 救急需要の増加に加え伊賀地域救急輪番制の影響もあり、高規格救急車の走行距離が著しく増加していることから、今後も早期の車両更新が見込まれ財政負担が大きくなります。
- ・ 消防団員の報酬や貸与品等で処遇の改善を図り、継続して消防団員が確保できる体制を構築する必要があります。併せて、消防団活動への支援・協力者に安全装備品等を貸与する必要があります。

施策指標(目標)及び達成状況

Plan

Do

施策指標(目標)の内容 (単位)		現状値 (H20)	2009 (H21)	2010 (H22)	2011 (H23)	2012 (H24)	2015 (H27)	進捗率
3カ年の平均出火率 (件)	目標	-	-	-	-	3.06	3.00	
	成果	3.11	2.72	2.65	2.91			100%
高齢者等の世帯への防火訪問指導件数【延べ値】 (件)	目標	-	-	-	-	4,750	8,200	
	成果	850	850	850	850			0%
自主防災組織等への指導件数【延べ値】 (件)	目標	-	-	-	-	236	396	
	成果	45	86	108	128			24%
応急手当講習会受講者数【延べ値】 (人)	目標	-	-	-	-	54,400	73,000	
	成果	30,795	35,189	38,863	42,588			28%

3. 取組内容

課題解決への取組内容

Do

- ・ 国庫補助事業や有利な起債事業で財源を確保して車両の整備を進めました。
- ・ 消防団内で組織改編等検討会を設置し、これまで任免年齢の上限撤廃や分団定数の見直しなどの改正を行い、団員確保の成果を上げました。また、同検討会で消防団活動への支援・協力制度の導入について具体的に検討を進めました。

地域等との連携、協働に向けた取組 **Do**

・各地域における訓練指導等を通じ地域の指導者及び関係機関の理解を得た中で各施策に向けた協力体制を引き続き構築しました。
 ・消防団活動への支援・協力制度は、まちづくり協議会や単位地区に理解と協力をいただける制度とする必要があることから、消防団内において更に制度の検討を行い、地域と連携を取りながら制度導入を進めました。

4. 施策達成のための事務事業及び評価 (合計 12 事業) **Do** **Check**

事務事業シート番号	事業名・担当室名 (事業名の 印は、市長の重点施策事業を示しています)		事業費 (単位：千円)		事務事業シートでの今後の方向	施策達成への貢献度	施策達成への重要度
			2010 (H22)	2011 (H23)			
4033	高規格救急自動車整備事業	消防救急室	0	25,973	継続(現行)	A	B
4034	小型動力ポンプ購入事業	消防救急室	2,356	2,347	継続(現行)	B	B
4035	消防ポンプ自動車等整備事業	消防救急室	29,622	29,985	継続(現行)	A	B
4036	消防団拠点施設整備事業	消防救急室	6,330	5,875	継続(現行)	B	B
4038	消防庁舎改修事業	消防総務室	13,632	36,299	H23完了	-	C
4040	耐震性貯水槽設置事業	消防救急室	0	6,174	継続(現行)	B	B
4070	小型動力ポンプ付積載車購入事業	消防救急室	0	3,463	継続(現行)	B	B
4078	消防庁舎跡地有効活用事業	消防総務室	-	13,331	H23完了	-	-
5036	消防車両管理費	消防救急室	3,353	3,979	継続(現行)	-	C
5037	消防施設費	消防救急室	1,873	1,890	継続(現行)	-	B
6091	常備消防費	消防総務室	63,444	93,952	継続(現行)	-	A
6092	非常備消防費	消防救急室	42,210	57,653	継続(拡大)	-	A
合計(単位：千円)			162,820	280,921			
小計(うち、一般会計分)			162,820	280,921			
小計(うち、特別会計・企業会計・組合会計分)			0	0			

5. 部局による施策評価 **Check**

評価
計画どおり事業推進
成果・評価理由
<ul style="list-style-type: none"> ・地域における消防防災拠点となる消防施設を適正に維持管理することにより、迅速・的確な災害対応及び消防対応力の充実強化が図れています。 ・常備消防車両、消防団車両の整備、更新が計画的に進められています。 ・救急救命士の養成が計画的に進められています。 ・消防団員の加入促進や住宅地での消防団組織の結成が計画的に進められています。

6. 今後の施策の方向性、改善方法 **Action**

・将来的な伊賀地域の消防広域化に向け、「伊賀ブロック広域消防運営計画」の策定作業を引き続き進めます。
 ・火災等による被害の軽減を図るため地域の指導者や関係機関の協力のもと各施策を展開し、消火器や住宅用火災警報器等の設置の促進を図るなど、各地域における防火・防災力の向上に努めます。
 ・的確な応急処置ができるよう引き続き応急手当の普及啓発に取り組みます。
 ・救急救命体制の強化のため高規格救急車や救助工作車等の計画的な整備、更新を行います。
 ・大規模災害時の対応や身近な災害への取り組み等、地域の安全、安心の確保の上で不可欠な存在である消防団の充実強化を図るため、団員確保に向けた取り組みを継続的に実施します。
 ・財政状況が厳しい中においても市民の安全・安心を確保することは不可欠ですので、補助事業や有利な起債事業等を活用しながら施設整備を行うとともに、救急救命士の養成と救助隊員の育成強化を図ります。
 ・消防団員の確保対策と消防団活動への支援・協力制度の導入を進め、災害に対する初動体制の強化を図ります。

7. 総合評価

評価
B 施策達成に向けた取組や今後の施策展開が適切に行われている
評価理由及びその他(意見)